

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小54) 長崎市立(南陽小)学校

1 教育目標

「光り、輝く、チーム南陽小」
 考えよう、語り合おう(自分でみんなで・楽しみながら・最後まで)
 (問題は何か・どうすればいいか・結果はどうか・次はどうするか)

2 学校経営方針

- 「しっとり落ち着いた学校」5つの基本欲求が満たされた状態
 (生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求)
- 「子ども・保護者・教職員・地域が互いのことを大切にできる学校」
 大切にすることは、命と心(未来)を守ること

3 重点目標

- 確かな学力の向上
- 健やかな心と体を育成
- 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備

4 自己評価

| 領域 | 項目 | 質問内容 | アンケート結果 | | | 分析及び改善策 |
|------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------|-----|-----|---|
| | | | (肯定的割合・%) | | | |
| | | | 児童生徒 | 保護者 | 教職員 | |
| 学校経営 | 教育目標 | 教育目標を達成している | 94 | 89 | 100 | おおむね満足できる評価である。行事の精選、日課表の変更、校務の縮減・効率化等、さらに校務支援システムの活用で業務の改善を推進していきたい。 |
| | 学校の雰囲気 | 明るく楽しい雰囲気である | 93 | 91 | 100 | |
| | 組織運営 | 校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している | | | 83 | |
| | 業務の改善 | 校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している | | | 75 | |
| 心の教育 | 生活・生徒指導 | ルールやマナーを身に付けている | 86 | 79 | 58 | おおむね満足できる評価である。「ルールやマナーが身につけている」の教職員と児童・保護者の評価が乖離している。これは、教職員の基準と児童・保護者の基準の違いだと考えられる。集会や通信、懇談会等を通して、身に付けさせたい力を共通理解し、改善していきたい。人権や平和について児童の達成率が高いことは大変喜ばしい。 |
| | | 挨拶をよくしている | 87 | 75 | 75 | |
| | | 「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ) | 86 | 72 | 92 | |
| | | 教職員は悩みや相談に親身に対応している | 88 | 81 | 100 | |
| | いじめ防止対策 | 学校はいじめ防止のための対策をとっている | 91 | 75 | 100 | |
| | 人権教育 | 生命や人権を尊重しようとする心が育っている | 96 | 81 | 75 | |
| | 平和教育 | 平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている | 97 | 80 | 67 | |
| 特別支援教育 | 学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている | 96 | 84 | 92 | | |
| 確かな学力 | 特色ある学校づくり | 伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている | 95 | 90 | 92 | 「学力の定着・向上」に向けて熱心に取り組んでいると、三者とも高い評価をしている。校内研修の成果としての国語科だけでなく、全教科で表出することを意図的に取り入れた授業実践をしている。今後も主体的で深い学びとなるように研鑽を重ねていきたい。 |
| | 学習指導・教育課程 | わかりやすい授業を行っている | 94 | 86 | 100 | |
| | | 家庭学習の習慣が身に付いている | 89 | 75 | 75 | |
| | キャリア教育 | 将来の自立に向けて適切に指導している | 82 | 82 | 92 | |
| 長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである | | 94 | | | | |

| | | | | | | |
|---------|------------|------------------------------|----|----|-----|---|
| 健やかな体 | 保健・衛生 | 衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている | 88 | 86 | 100 | おおむね満足できる評価である。養護教諭が健康教育を積極的に指導実践しており、三者ともに評価が高かった。 |
| | 体力向上 | 早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている | 83 | 81 | 83 | |
| | | 体力向上に努めている | 82 | 88 | 75 | |
| | 食育 | 食に関する教育活動を行っている | 87 | 87 | 75 | |
| 信頼される学校 | 安全管理 | 児童生徒の安全に気を配っている | 90 | 87 | 92 | おおむね満足できる評価である。コロナ禍の中にあっ、できる限り育友会や地域との交流を実践してきた成果であると考えられる。 |
| | 情報提供 | 学校の状況は通信やHP等で知ることができる | 92 | 91 | 83 | |
| | PTA・地域との連携 | 学校はPTAや地域との連携がとれている | 73 | 90 | 100 | |
| | 職員資質向上 | 研修が充実し、資質が向上している | | | 100 | |
| 教育環境 | 環境整備 | 教育環境が充実し、整備されている | 90 | 91 | 50 | 校舎を含めた設備は古くなってきている。安心安全で使いやすい環境になるように努めていきたい。 |
| | 職場環境 | 学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる | | | 100 | |

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○保護者からの評価は全項目において、ほぼ8割以上の良好な評価を受け、家庭からの信頼が高いことが分かった。
 ○教職員の評価は、ほとんどの項目において8割以上の良好な自己評価をしており、高いレベルで職務を遂行していることが分かった。生活指導面での評価が低く、児童・保護者への意識改革をしつつ、生活の基盤であるモラルの向上、ルールを守ることを徹底させていきたい。
 ○環境整備での職員の評価が極端に低い。限られた予算の中ではあるが、優先順位をつけて対処していきたい。
 ○児童の評価はほとんどの項目において、8割以上の良好な自己評価をしており、全体として多くの児童は自己肯定感・自己有用感をもってることがわかった。これは、全職員が子どもたちを様々な教育場面の中で、励まし褒めて自信をもたせながら指導・支援をしてきた成果である。

6 学校関係者評価

○三者のアンケートのほとんどの評価項目において8割以上も達成しているのは、素晴らしい。これは、教師が高い志・目標をもって指導にあたったので、児童はよい習慣が身に付き、この変容した我が子の姿を見た親も支持をしている、ということである。
 ○挨拶は、よくしてくれる。
 ○「ルールやマナーがよく身に付いている」の達成度が、児童・保護者と教職員での差が激しい。評価が同じようになってほしい。
 ○靴箱の靴や教室のいすなど、とてもきちんと並んでいる。→落ち着いている。
 ○保護者が学校へ来る機会を増やし、子どもを見てほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○今年度の本校の教育活動の成果や学校評価の分析結果に対して、学校評議員全員が、共感的に受け止めて支持してくださった。これからも、学校評議員からの助言を真摯に受け止め、学校教育に対する高い支持がこれからも持続するように、職員一人一人が高い志・目標をもちその達成を目指して日々の職務に精励しなければならない。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。